



学校だより

調布市立調和小学校
令和8年6月30日(火)
校長 安藤 力也

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chowa-sho>

Mail: chowa-sho@chofu-schools.jp

思いどおりにいなくても…

～しなやかな心を育むために～

校庭の木々が青葉を茂らせ、子どもたちの声が心地よく響く季節となりました。子どもたちは日々、それぞれのペースで学習や生活に向き合っていますが、その中では思いどおりにいかないことに出会う場面も少なくありません。例えば、「頑張ったのに思うような結果にならなかった。」「楽しみにしていたことが予定どおりにできなかった。」「友達との関わりの中で気持ちがすれ違ってしまった。」など、子どもたちは日々様々な経験を重ねています。

副校長 佐久間 信介



こうした出来事にどのように向き合っていくかは、一人一人異なります。思いどおりにならなかったとき、すぐに答えが見付からなくても構いません。そのような中で、「どうしたらよいか。」「今は少し立ち止まって様子をみようかな。」と、自分なりに気持ちや行動を整えていこうとする姿も、大切な成長の一つです。こうした経験の積み重ねが、少しずつ心のしなやかさを育んでいきます。

このような心のしなやかさは、スポーツの世界にも見ることができます。FIFA サッカーワールドカップで日本代表が強豪国と対戦した際、先に失点するなど苦しい展開に見舞われることがありました。しかし、選手たちは思うようにいかない状況に直面しながらも、その時々で自分たちにできることを模索し、仲間と支え合いながら試合に向き合っていました。その姿からは、うまくいかない時も、それぞれの方法で関わり続けることの大切さが伝わってきます。

学校生活においても、すぐに前向きな気持ちになれないことや、一步踏み出すまでに時間がかかることがあるかもしれません。そのような時も、「今の自分にできること」や「安心できる過ごし方」を大切にしながら、一人一人の歩みに寄り添っていきたいと考えています。

学校では、結果や取りかかりの速さだけでなく、子どもたちがどのような思いで日々を過ごしているか、その過程を大切にしています。御家庭におかれましても、お子様が悩んだり立ち止まったりしている時には、先回りして無理に答えを急ぐのではなく、「どう感じているのかな。」「どうしたらより良くなるかな。」と一歩引いて、そばで見守る姿勢で関わっていただければと思います。子どもたち一人一人が、自分なりのペースで歩みながら、少しずつしなやかな心を育ていけるよう、今後も学校と家庭が連携しながら見守ってまいりましょう。

【第2回学校運営協議会 報告】

◇日 時： 令和8年6月6日(土) 10時より ◇会 場： 本校会議室

◇出席者： 三浦伸幸・小川雅弘・姫野由利子・平尾弥生・安藤力也・佐久間信介(事務局)(敬称略)

◇内 容： 現況報告について・学校公開参観・意見交換